

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	所沢市立かしの木学園		
○保護者評価実施期間	2025年10月16日		～ 2025年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年10月16日		～ 2025年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子支援を丁寧に行っていること。	・乳児については週1～2日の親子登園、幼児については月2～4日の親子登園を行っている。子育てについての相談援助を気軽にできる雰囲気作りに努めている。	・職員が仲介しながら保護者同士が繋がる機会をつくり、保護者同士で語り合える場の提供を充実させていく。
2	・職員間での連携を図っていること。	・担任に限らず全園児の情報を職員全体で把握できるように、毎日連絡事項を共有し、情報把握に努めている。 ・日々の療育において職員調整を行い、安全かつ適切な職員配置で療育が提供できるよう努めている。	・引き続き職員のスキルアップを図ると共に、事業所内で連携が図れる組織づくりを継続していく。
3	・移行支援を丁寧に行っていること。	・移行先、併用先の保育園、幼稚園、事業所、学校等と連携を図り一貫性のある、また切れ目のない支援を提供できるよう努めている。	・引き続き自立支援協議会や研修会への参加を通じて地域のネットワークづくりを強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・設備面での課題があること(施設の老朽化や備品の整備等)。	・様々な障害特性のある児童がいる中で、全ての児童に対して合理的な環境を提供するには空間が足りない現状がある。	・環境を工夫し空間を使い分けながら、より快適な療育環境を提供できるよう努めます。 ・老朽化に関しては市と協議しながら改修などを行い、安全面に留意していきます。
2	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の周知が足りないこと。	・プログラムの対象児に限られたものとなっているため、全体への周知が難しい。	・保護者向けの学習会や研修会の内容について、全園児に役立つ情報発信ができるよう内容をブラッシュアップしていきます。
3			